

微生物専門調査会とウイルス専門調査会の検討グループの設置について

食品安全委員会微生物専門調査会
食品安全委員会ウイルス専門調査会

1 経緯

- (1) 食品安全委員会第 74 回会合(平成 16 年 12 月 16 日)において、食品安全委員会が自らの判断により食品健康影響評価を行うべき案件として、食中毒原因微生物の評価指針を策定し、評価すべき優先順位を決めた上で個別の微生物について評価を行うことを採択した。
- (2) このうち、食中毒原因微生物に係る食品健康影響評価指針の策定に関しては、食品安全委員会第 145 回会合(平成 18 年 6 月 1 日)において、「食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針」(案)(以下「評価指針」(案))としてとりまとめ、公表した。
- (3) その後、リスク評価案件の優先順位を決定するに当たり、「評価指針」(案)に基づき 9 つの食品と微生物の組み合わせを案件候補として選定し、リスクプロファイルの作成を進めてきた。微生物(第 18 回)・ウイルス(第 11 回)合同専門調査会(平成 18 年 9 月 11 日)において、それらを公表することを決定し、リスク評価案件候補の優先上位案件として、以下の 4 つの食品と微生物の組み合わせを選定したところである。
 - ア 鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリ
 - イ 牛肉を主とする食肉中の腸管出血性大腸菌
 - ウ 鶏卵中のサルモネラ・エンテリティディス
 - エ カキを主とする二枚貝中のノロウイルス
- (4) 今後、上記 4 候補について、リスクプロファイルを基に、健康への悪影響の発生状況や症状の重篤さ、リスク評価の実行可能性等について更に審議を行い、リスク評価案件の優先順位を決定することとしており、それらの作業を効率的に進めるため、微生物専門調査会とウイルス専門調査会の下に、それぞれの案件に関する検討グループを設置することとされた。

2 運営

(1) 検討グループの設置

微生物専門調査会とウイルス専門調査会の下に、リスク評価案件の優先順位を決定するため、以下の案件に関して各検討グループを設置し、健康への悪影響の発生状況や症状の重篤さ、リスク評価の実行可能性等について整理を行う。

(微生物専門調査会)

- ア 鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリ
- イ 牛肉を主とする食肉中の腸管出血性大腸菌
- ウ 鶏卵中のサルモネラ・エンテリティディス

(ウイルス専門調査会)

カキを主とする二枚貝中のノロウイルス

(2) 検討グループの構成

検討グループは、微生物又はウイルス専門調査会それぞれの専門委員で構成する。検討グループのメンバーと責任者は、微生物又はウイルス専門調査会それぞれの座長が決定する。

また、微生物又はウイルス専門調査会それぞれの座長が必要と認めた場合には、有識者を参考人として招聘することができる。その場合、審議経過及び作成した文書に参考人を明記する。

(3) 検討グループ会合

検討グループ会合は、微生物又はウイルス専門調査会それぞれの座長が招集することとし、各責任者を議長として検討を行う。

また、検討グループ会合は原則として公開で行うこととする。

なお、微生物又はウイルス合同専門調査会に属する専門委員は、検討グループ会合に自由に参加することができる。

(4) 検討成果の取り扱い

検討グループでまとめた検討成果については、微生物又はウイルス専門調査会へ報告する。また、検討グループの検討状況についても、適宜、微生物又はウイルス専門調査会へ報告する。

3 その他

検討グループに関するその他の事項について、微生物又はウイルス専門調査会それぞれの座長の指示に従うものとする。

検討グループ名簿

(微生物専門調査会)

鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ／コリ

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 春日 文子 | 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第三室長 |
| 中村 政幸 | 北里大学獣医畜産学部獣医学科教授 |
| 藤井 建夫 | 東京海洋大学海洋科学部教授 |
| ◎ 牧野 壮一 | 帯広畜産大学大動物特殊疫病研究センター長 |
| 丸山 務 | 社団法人日本食品衛生協会技術顧問 HACCP 普及推進部長 |

牛肉を主とする食肉中の腸管出血性大腸菌

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 春日 文子 | 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第三室長 |
| ◎ 工藤 由起子 | 国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部主任研究官 |
| 関崎 勉 | (独)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所細菌寄生虫病研究チーム長 |
| 藤川 浩 | 東京都健康安全研究センター微生物部食品微生物研究科課長補佐 |
| 渡邊 治雄 | 国立感染症研究所副所長 |

鶏卵中のサルモネラ・エンテリティディス

- | | |
|---------|-------------------------|
| 荒川 宜親 | 国立感染症研究所細菌第二部長 |
| 春日 文子 | 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第三室長 |
| 小崎 俊司 | 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授 |
| 田村 豊 | 酪農学園大学獣医学部教授 |
| ◎ 中村 政幸 | 北里大学獣医畜産学部獣医学科教授 |

(ウイルス専門調査会)

カキを主とする二枚貝中のノロウイルス

- | | |
|--------|-------------------------|
| 牛島 廣治 | 東京大学大学院医学系研究科国際保健教授 |
| 岡部 信彦 | 国立感染症研究所感染症情報センター長 |
| 春日 文子 | 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第三室長 |
| 門平 睦代 | 帯広畜産大学畜産学部畜産科学科助教授 |
| 田代 真人 | 国立感染症研究所ウイルス第三部長 |
| ◎ 西尾 治 | 元国立感染症研究所感染症情報センター第六室長 |

* 五十音順、敬称略、◎は責任者